

壁面用

水系1液 アクリルウレタン塗料

ミラウォール AU 塗装仕様

適応下地：鋼板製壁面、金属系サイディング

工程	使用塗料とその処理	塗装方法	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23°C)	
1	下地調整	ゴミ、埃、汚れ、油分等の付着物や発錆部を、高圧水洗、サンダー、ワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパーで除去して清浄な面とし、十分に乾燥させる。 発錆部はケレン後、ミラクール強化防錆コートを0.15~0.2kg/m ² 部分塗布する。 旧塗膜に脆弱層がある場合は、周辺部分を含めてケレン工具を用いて入念に除去する。			
2	下塗	ミラクール WA プライマー A液(1缶)：8.0kg B液(1缶)：8.0kg A液：B液 = 1：1 (重量比)	刷毛塗り または ローラー塗り	0.1~0.12	2H~
3	上塗 1回目	ミラウォール AU 各色 塗料(1缶)：15kg	刷毛塗り または ローラー塗り	0.15~0.2	6H~
4	上塗 2回目	ミラウォール AU 各色 塗料(1缶)：15kg	刷毛塗り または ローラー塗り	0.15~0.2	—

【施工上の注意点】

高性能の塗膜を作るために、下記の項目にご留意ください。

- (1) 開封する前に、缶を振って良くかくはんしてください。開封後も内容物が均一になるように、かくはん機で十分かくはんしてください。
- (2) 気温5°C以下、湿度が85%以上、結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- (3) 塗装後6時間以内に降雨の恐れがある場合には作業を中止してください。
- (4) 風の強い日は塗装を見合わせてください。(目安として5m/秒以上)
- (5) 上塗りの希釈は隠ぺい力不足、塗布量不足、仕上がりが不良となりますので行わないでください。
- (6) 所要量以上の厚塗りはしないでください。
- (7) 塗装下地にシーリング施工する場合は、ウレタン又は変性シリコンノンブリードタイプをご使用ください。
- (8) 未乾燥塗膜上に結露すると、塗膜の溶解やつやびけなどが起きる原因になりますので、結露の可能性のある場合は6時間前には塗装を終了してください。
- (9) 塗料、洗浄水は下水道に流さないでください。
- (10) 容器を密閉し、5°C~30°Cの室内で保管してください。冷寒時には、塗料が凍らないようにご注意ください。凍結した塗料は使用できません。
- (11) 発錆部に「ミラクール強化防錆コート」を塗布後、16時間以上塗装間隔をあけてください。
- (12) 「ミラクール強化防錆コート」(A液:B液=6:1 重量比)はA液とB液の割合は厳守してください。配合比を誤ると性能に影響します。

【備考】

※下地が健全な状態であることを想定しておりますので、下地の状態により塗装工程が異なる場合があります。

※下地の状態、気象条件、施工条件により所要量や塗布間隔に多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは、所定の塗装間隔を守ってください。

縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などの原因になることがあります。

※使用するローラーには、中毛が適します。